

平安時代の「阿弥陀如来」を巡る(洛西)

距離:約8km 所要時間:約3時間 (見学時間は含まず)

阿弥陀信仰は奈良時代にも盛んでしたが、末法思想の影響を受ける前の平安時代初期を代表する国宝の阿弥陀如来像が、京都市内洛西地区に3体もあることに京都の人も気が付かない。何だか清新的な気分が味わえます。

おすすめウォーキングコース

御室仁和寺(宝物館)⇒法金剛院⇒広隆寺講堂⇒嵯峨清凉寺(宝物館)

コース上のおすすめスポット



御室仁和寺

真言宗御室派総本山 門跡寺院
樹高2mと低い御室桜



嵐電と広隆寺

聖徳太子を開基とする秦氏の氏寺
国宝・重文の古仏像多数



嵯峨清凉寺

嵯峨の釈迦堂の名で親しまれている古刹 源融の山荘跡

ちょっぴり情報

最寄り駅	行き:市バス「仁和寺前」又は嵐電「御室仁和寺」徒歩3分 帰り:市バス「嵯峨釈迦堂前」・JR嵯峨嵐山駅(嵯峨野線)
現地問合せ先	◆ 仁和寺(☎075-461-1155) ◆ 法金剛院(☎075-461-9428) ◆ 広隆寺(☎075-861-1461) ◆ 清凉寺(☎075-861-0343)
現地情報	・仁和寺には「御室八十八ヶ所霊場めぐり」や名陶工野々村仁清の窯跡の碑 ・仁和寺・清凉寺の「宝物館」は、期間限定で公開(事前確認要) ・嵯峨大念仏狂言(4月・10月 清凉寺 京の三大念仏狂言のひとつ) ・聖徳太子御火焚祭(11月22日 広隆寺)
MAP	ウォーキングマップ(PDF 4.12M)
情報提供	京都SKY観光ガイド協会(☎075-221-1516) (令和2年4月1日現在)